

2018年6月22日
株式会社キトー

2018年6月21日に実施いたしました第74回定時株主総会における、株主様からのご質問と、当社からの回答の要旨を、下記のとおり公開いたします。

1 番目にご質問された株主様

質問 1 :

第3号議案の退職慰労金について、上限を設けてはいかがでしょうか。

回答：代表取締役 鬼頭

日本の退職慰労金制度が、業績と関係なく支払われる論功行賞的なもの理解され、特に海外から批判が高まっているのは承知しています。しかし当社の慰労金は、あくまでも毎期の会社業績や個人の貢献度評価に応じて支給額が決定される、いわば賞与の一部であり、毎期積み立てて退職時に支払う、透明性の高い制度です。退職金に関する税制上のメリットを活用し、会社、本人、ひいては株主様の利益にかなう仕組みであると考えます。以上を踏まえ、当社は退職慰労金制度を存続させておりますので、ご理解の程お願い申し上げます。

質問 2 :

第4号議案のストックオプション発行について、最近では譲渡制限付株式制度があり、同制度であれば株式の付与が速やかに行われ、新任役員が就任した場合などに好ましいと思いますが、いかがでしょうか。

回答：代表取締役 鬼頭

譲渡制限付株式というものが、日本で広まりつつあるのは承知しています。当社は現在、役員報酬制度はどうあるべきか検討しているところであり、貴重なご意見として参考にさせていただきます。

2 番目にご質問された株主様

質問 :

障がい者雇用率で高い水準を達成するなど、障がい者雇用に非常に積極的とのことですが、障がいの種類や程度は一人ひとり異なり、雇用には苦勞があると思います。具体的にどのような取り組みをしていますか。

回答：代表取締役 鬼頭

当社が、障がい者雇用の推進に全社的な取り組みを始めたのは8年ほど前からです。当社として行うべき社会貢献は何かと考えたとき、障がいのある方に雇用機会を提供することが、我々の身近にあり、かつ優先的に取り組まねばならない課題ではないかとの結論に至りました。

既存の業務に障がいのある方を当てはめていくのではなく、各人の能力に応じて、いわば業務をテーラーメイドに作り上げ、安全面にも充分に配慮しながら、これまで進めてきました。結果的に高い雇用率を達成するに至ったものの、数値を目標としておらず、これからも着実に成功事例を積み上げていきたいと考えています。

3 番目にご質問された株主様

質問 1 :

国内や海外における競合先には、どのような会社がありますか。

回答：代表取締役 鬼頭

日本には、同じ製品を製造している会社として、象印チエンブロック株式会社、及び株式会社ニッチの2社があります。また、全く同じではありませんが、大手重電メーカーである日立製作所や三菱電機の一部門として、同じ用途の製品を製造している会社がございます。アメリカでは、ナスダック市場に上場する、当社とほぼ同じ売上規模で、同等のシェアを持つコロンバス・マッキノンという企業があります。欧州では、大手の重電メーカーや、小さな専門メーカーが、混在している状況です。

質問 2 :

先ほど、ヨーロッパを重視するという説明がありました。招集通知に記載の海外拠点を見ますと、ロシアには拠点が無いようですが、これは、フィンランドを強化することにより代替するという理解でよろしいでしょうか。

回答：代表取締役 鬼頭

欧州戦略におけるロシアへの取り組みについてですが、買収したフィンランドのエリキラ社はロシアに拠点を有しており、当社として、初めてロシアに拠点を持つこととなりました。また、サハリンなどロシア東側の天然資源地域につきましては、主に、日本の商社などを経由して製品を供給しております。

4 番目にご質問された株主様

質問 :

フィンランドとオランダで買収を行いました。それぞれの会社の買収以前の収支状況は、どのようなものであったか教えて頂きたい。

回答：代表取締役 鬼頭

フィンランドのエリキラ社は、主に北欧地域で営業活動をしており、売上規模は10億円程度ですが、過去5年間は安定的な収益をあげています。

オランダのヴァン・ルースデン社は、売上規模はさらに小規模ですが、当社関連製品に付加価値を加え特殊業界に販売している企業です。プロジェクト型のビジネスであり、売上金額に多少の上下はあるものの、過去数年、非常に高い利益を上げている企業です。

5 番目にご質問された株主様

質問 :

働き方改革、ワークライフバランスなど、人に焦点が当たる取り組みが課題になっており、経営の観点からは、難しい点も出てくると思われ。当社は、人に対しては真摯に対応しているように見受けられますが、今後、どのように取り組もうとしているのか、教えて頂きたい。

回答：常務執行役員 遅澤 / 代表取締役 鬼頭

当社は、雇用の維持・確保を重要視しております。以前から、ワークライフバランスに積極的に取り組み、社員が幸せに、充実感を持って働けるよう取り組んでまいりました。

当社グループには2,700名強の社員がおり、日本では700名程度となっております。世界には様々な働き方に対する考え・文化があります。固定観念を払拭し、質の高い仕事を共有しながら、結果的に残業削減や有給休暇の消化の促進を、達成したいと考えています。

本件に関するお問い合わせ

株式会社キトー

コーポレート・コミュニケーション部

TEL: 03-5908-0161

MAIL: ir@kito.com